

事務事業名	地域包括支援センター事業	整理番号	22301-000
所 管	長寿介護課高齢者福祉スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	平成 18年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	介護保険法
基本計画における位置付け	基本政策	2-2 福祉の充実	関連政策
	政 策	2-2-3 高齢者福祉の充実	

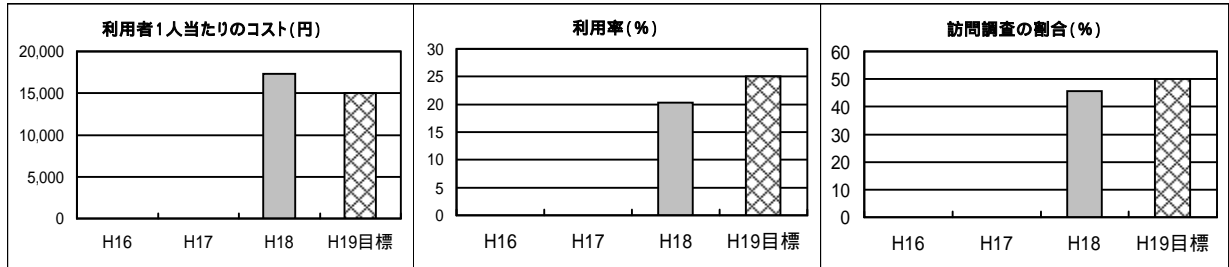
事務事業の内容

目的 (何のために)	地域で暮らす高齢のみなさんを介護、福祉、健康、医療、虐待、権利擁護などさまざまな面から包括して支援する
対 象 (誰・何を)	高齢者及びその家族
手 段 (どのようなやり方で)	担当地区を決めた市内4か所の施設(十字の園(御殿場地区)、菜の花(玉穂・高根地区)、あすなろ(原里・印野地区)、富岳(富士岡地区))において、主任ケアマネジャー、保健師及び社会福祉士が中心となり、要支援1・2と認定された人は介護保険の介護予防サービスを利用、支援や介護が必要となるおそれの高い人や自立した生活をしている人は介護予防事業を利用、その他虐待や金銭管理を始めとしたあらゆる生活の中での相談に対して対応、支援する。
成 果 (どのような状態にしたいか)	住みなれた地域で各種福祉サービス(介護保険を含む)が総合的に受けられるようになり、高齢のみなさんが安心していきいきと暮らすことが出来るようになる。
事務事業の背景・住民の意向	高齢者等の福祉相談窓口の多様化と介護予防の展開
見直し改善の経過	従来の在宅介護支援センター業務に地域密着・介護予防事業が加わり、平成18年度に創設された。

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成16年度		
平成17年度		
平成18年度	利用実人員 2,999人 総相談件数 9,161件 訪問件数 4,182件 ケアプラン作成件数 1,535件	

評価指標



事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)	コメント		今後の方向性												
<table border="1"> <tr> <td>観点別評価</td> <td>必要性</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>有効性</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>効率性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一次評価</td> <td colspan="2">A</td> </tr> </table>	観点別評価	必要性			有効性			効率性		一次評価	A		介護予防や自立支援の役割りを果たす地域密着型の窓口として、今後の役割りはますます大きくなっていくものと思われる。		継続
観点別評価	必要性														
	有効性														
	効率性														
一次評価	A														
二次評価(行政評価委員会の評価)	コメント		今後の方向性												
二次評価	B		継続												
	満足度調査を行なうなどして、事業の充実に努められたい。														

改革プラン

平成19年度からの対応	充実して継続
平成20年度以降の対応	
改革により予想される成果	介護予防事業・自立支援の拡充